

## JWA2022年度 10月月例理事会

2022年10月20日(木曜日) 19:00～21:00 GoogleMeet

出席者(予定) 理事長:石原 智央

理事:岩田 俊彦/ 霜山 厚/ 鈴木 智彦/豊岡 美枝/ 三澤 文良/  
永田 絹子(書記)

事務局:由村 剛志

学連代表者:遠藤(学連委員長)/小林(副委員長)

(敬称略 五十音順)

### 【報告】

#### 1) 九州遠征の補助申請について(学連)

目的:九州支部の学生を巻き込んだ全国学連の交流促進。

日程:2022年12月15日(木)～12月19日(月)

移動:15日、16日、19日

練習:17日、18日

場所:鹿屋体育大学スポーツセンター(鹿児島)

練習:高須海水浴場(鹿児島県鹿屋市高須町)

レクリエーション:鹿屋体育大学主体育館(鹿児島県鹿屋市白水町1)

宿泊先:鹿屋体育大学合宿研究所(鹿児島県鹿屋市白水町1)

参加人数:全体72名(九州約60名、関東6名、関西6名)

#### 【関東・関西の学生の選出方法】

◎各支部3人は公募して、3人は目星をつけて勧誘する

◎目標:来年学連幹部をやりそうな子

◎ボリューム層が一番厚い2年生を多めに連れて行くのはどうか

◎2年生は来年以降も活動する人が多いので交流を作っておく意味がある

内容を検討し、予算を事務局に確認し来月の理事会までに予算額決定予定

## 2) インカレ個人戦の見積について(学連)

2022年 全日本学生ボードセーリング選手権大会

期日:2022年11月18日(金)~20日(日)

開催場所:沖縄県国頭村字奥間海岸(オクマプライベートビーチ&リゾート)

学連の方から拠出する予算の内訳に関して  
例年の予算になかった表彰式で使用するステージの費用  
オクマで使用する機材の貸し出し(スピーカー、PA機材など)  
参加者からのエントリー費にて黒字で賄える予定

## 3) WSWC動画制作の現況について

大会の前、大会中、大会後の動画を制作する

大会まで1ヵ月を過ぎていることもあり、毎週1本というハイペースで

第一弾をSNSで60秒動画を配信する。YouTubeは2分30秒

デイリーハイライトの作成の予定であり、世界向けのもの(PWA視点)

日本人向け、日本のマーケット向けに考えられていないので、

それに合わせた物を別に作成しようと考慮中(横須賀市)

大会後については、動画を2~3本、総集編

浅野選手と穴山選手の大会前と大会中および大会後を追いかけて

ドラマ的に編集し、来年に繋がる作品を3本くらい作る予定

一般人向けに作成されたウインドサーフィンの魅力紹介の動画(YouTube)

13日の記者会見の際のYouTube動画(45分)が配信されているので

どちらも、ぜひご覧下さい。

### エントリーについて

PWA側のエントリーシステムに一部不具合がある

日本人男子選手は30名(内、上から20名)

女子選手は全員リリースして、エントリー受付中

期日の18日を過ぎてもエントリー可能

設営に関しては、ほぼ図面が完成している

風なしイベントに関しては、トーイングは未定

サーファー艇でのイベントを行う可能性もあり

フリスタ選手のデモなども考えられる

### メーカーテントに関して

メーカーテントの募集をこれから行う

11張分のエリアを確保している

4) 国体艇種について(とちぎ国体)

参加に関しては、男子は34名、女子は20名

使用艇種に関しては

男子は、全員ZIPとZEROセイル(内タイガーもあり)

女子は、ほぼZIPとZEROセイル(内1名ファントム・ロフトセイル)

3年ぶりの国体開催で、ほぼ艇種はワンデザイン化し選手も同じ顔ぶれ

選手から、今後の国体艇種がどうなるのかの質問があった

ZIPやZEROの供給があと何年できるのかと不安の声

各メーカーに求められている供給量を今後も供給できるのかと心配している

セイルの関しては、海外からの供給が止まっている事もありバテンがない状態

IQフォイルであるのかコースレースであるのかテクノワンデザインであるのか

今後の国体艇種変更に向けJWAの役員で検討し話し合っていく

これからのジュニアが育つ為にも、オリンピックまでの道のりや繋がりを持ち

節目に国体がある事で地元で育った子たちが県代表になる事もできる

育成プログラムとして統一する事で目標を持たせやすい

但し、なかなか結論は出ないと思うので、今後の委員会でこれからの国体の事を

考え、その分野に長けた人たちが集まって話し合っていく事が必要かと思う

オリンピック強化選手や国体選手や学生や経験者など

国体関連の会議などの報告では、フォイルでも成立できる事を伝えていく

艇種変更に関しては、約5年かかると言われている。

艇種変更に於ける条件は、各県連の半数以上の賛成が必要であり

スポーツ庁に対して変更における説明が必要となる

来年のプレ国体(佐賀)から『全日本セーリング選手権』として

テクノ293が参加艇種として正式に決定している

5) 検定(バッチテスト)に関して

11月3日(木)

ティアーズにて第二弾を開催予定

細かい問題などを再考し、風次第で内容を再検討

## 【議 事】

### 1) 次年度に向けての組織改編案の討議

一般社団法人へ移行し、全体的にどう変わっていくのか把握する為に  
事は組織全体を見ていく立場であり、動く人にはそのポジションを作り、  
理事長とは直結しながら動き、理事はその報告を受ける事となる  
率先して動いていける組織にしていきたい  
委員会を細かく分けて人をつけていくより、仕事の内容によって  
誰が担当するのか、そこに誰が付くのかという形を考えている  
話を進めていくのに、人があまり多いと論議をまとめていくのが難しい  
なるべく少なく、自分で考えて、明確に伝えてくれる人たちで理事会を作りたい  
理事にならなくても必要に応じて理事会に参加して、理事のやるべき事などが伝わり  
そしてその本人が理事になる事を決めたなら、今後立候補すれば良い

理

## 【その他】

1) 11月の理事会は11月12日(土)19:00～

ワールドカップ中に会場近くにて(横須賀あたり)

以上

議事録内容確認署名

議事録確認理事長:石原 智央

理事①:岩田 俊彦

理事②:豊岡 美枝